



陳恆輝
アンドリュー・チャン ハンファイ

1970年、香港生まれ。アリス劇場実験室 (Alice Theatre Laboratory) 芸術総監督。香港舞台芸術アカデミー (HKAPA) 演劇学科演出専攻卒業。卒業公演《ヴォイツェック》で校内優秀演出賞受賞。代表演出作品は《カフカの七つの箱》、《第三帝国 of 恐怖と貧困》、《勝負の終わり》、《ハムレットマシーン》、《香港三人姉妹》、《テンペスト》など。しばしば中国内陸、台湾、海外に招かれて演出する。2009年《カフカの七つの箱》で「第十八回香港舞台劇賞」の最優秀演出賞 (悲劇・シビア劇) 及び「第一回香港小劇場賞」最優秀演出賞受賞。2013年《勝負の終わり》で「第五回香港小劇場賞」最優秀演出賞受賞。2018年《香港三人姉妹》で「第二十七回香港舞台劇賞」最優秀演出賞 (悲劇・シビア劇) ノミネート。2017年《香港三人姉妹》の台北公演で、台北フリンジフェスティバル 優秀作品賞受賞。その他、エディンバラ・フェスティバル・フリンジや、兩岸小劇場芸術フェスティバル (中国本土・台北共同フェスティバル)、台北関渡芸術フェスティバル、烏鎮演劇祭などに参加し、様々な地域の芸術家と提携している。

参加者へのメッセージ

なぜ《三人姉妹》なのか？ なぜ《香港三人姉妹》なのか？
《三人姉妹》でイリーナのセリフ「モスクワへ行こう、モスクワへ！モスクワへ！」を読んだ時、香港人の現在の生活状況を思い浮かべた。《三人姉妹》の時代背景は革命前。彼女たちは闇夜の中で待ち続けたが、なかなか夜明けが来なくて、心の底で苦しんでいた。それでも、歯を食いしばって現実と向かい合わなければいけなかった。現在の香港人も昔の「輝いていた頃」を思い出しながら、悶々と様々な難関と向き合って、勇ましく未知な未来に向かっていく。百年余り前のロシアの三人姉妹はモスクワへ行きたくがっていた。百年後の香港人は何処へ行きたくがっているだろうか？何処へ行けるのだろうか？このちょっとした発想で、《香港三人姉妹》という劇を作り出した。そして、稽古をするうちに、また別の、香港に関する劇が派生した。いや、劇というより、短編物語の連続といったほうが適切かもしれない。私はただ舞台上で何人かの香港人の短編物語をプレゼンしていた。前書きもオチもない。あるのは目下のこの瞬間だけ。



ワークショップ内容

もしデバイジングという創作法が地図のない旅行のような物であれば、演出家と役者はどのように創作の方向を探せばいいのでしょうか？

古典戯曲と向き合う時、我々はどうしたら古典から与えられた束縛から解放されるのか？また、どのような演劇的な手法とイマジネーションを使って、それ (古典戯曲) と会話すればいいのか？

この香港と繋ぐリモートワークショップでは、香港舞台劇賞と香港小劇場賞の最優秀演出賞を受賞したアンドリュー・チャンさんが、自身の傑作《香港三人姉妹》を通して、演出家と役者が古典戯曲と「会話」する方法、デバイジング創作で役者の即興力を導き出す方法、チームをリードして無から有を生み出すこと、プロのパフォーマンスを構築する理念や手法を解説しながら、参加者とディスカッションを行います。

1日目 12月19日(土) 14時～17時

- * 講師とアリス劇場実験室の活動紹介
- * 講師の創作理念のシェア

2日目 12月20日(日) 14時～17時

- * 講師による《香港三人姉妹》解説
- * 参加者からの質問とディスカッション

3日目 12月21日(月) 19時～22時

- * 参加者が「日本とアントン・チェーホフの間はどんな関係があるのか」を発表
- * 各自が「日本の「三人姉妹」>というストーリーを紹介

4日目 12月22日(火) お休み 各自のシーン創作時間

5日目 12月23日(水) 19時～22時

- * 参加者による創作シーンの朗読発表
- * 演出スタイルについてのディスカッション
- * まとめ

【お申込】

チケットシステム [Peatix]
からご予約下さい。

<https://peatix.com/event/1709942>



左記のシステムが利用出来ない方は、お名前、連絡先 (メール、電話) を明記の上、メールにてご応募ください。のちほど詳細をご連絡致します。

✉ jda.iad.info1@gmail.com ☎ 080-3124-7210

【お申込〆切】WS参加者：12月9日まで

見学参加：Peatix申し込みはWS各回の直前まで可能。メールでの申し込みは12月15日まで。